

様式第2号（第5条関係）

令和7年3月22日

受 講 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 端 師孝



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和 7年2月22日
- 2 出張先 USBデータによる研修
- 3 目 的 予算質疑特別講座①
予算質疑特別講座②
- 4 関係書類 別紙のとおり



地方議員研究会

2025

1.18 土 / 2.22 土

in 東京

10:00 - 12:30

予算質疑特別講座①

- ・予算質疑の心構えと基礎
- ・事業の内容を確認するだけの質疑は終わらせよう
- ・質疑のための効果的な着眼点
- ・役所の計画や給食戦略から質疑を作る
- ・事務事業評価を活用しよう

14:00 - 16:30

予算質疑特別講座②

- ・予算質疑の為に事前に見ておく必須資料とは
- ・役所の資料は予算質疑の宝庫
- ・特別会計の質疑のポイント
- ・私の予算質疑の事例を紹介
- ・予算質疑の後にやるべきこと

予算質疑 特別 研修

講師

元枚方市議会議員

木村 亮太

きむら りょうた

講師プロフィール

政治学博士。大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ベンチャー企業）を経て、

2001年より無所属で3期2年枚方市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。

2005年副市長委員、2006年議会改革推進期市議会議員会議員、2008年副市長委員、2022年副市長委員として参画。

市議会議員時代の政策提言や議会改革の取組などが、市議会から本府最高位のアドバイザー、優秀功労賞を受賞。

特に、初めて取り組んだ自治体議員の活動の成果を、地方自治体のPRとして、市議会から本府最高位のアドバイザー、優秀功労賞を受賞。

また、大阪大学経済学部MBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士号取得。

日 時	令和 7年 2月 22日 10:00 ～ 16:30
視 察 先	オンライン(アーカイブ動画)による受講 於:自宅
調査事項	地方議員研究会 予算質疑特別講座① 予算質疑特別講座②
対 応 者	木村亮太氏(元枚方市議会議長)
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	1. 目的 議員一期目で2年が経とうとしている、決算と予算を2回ずつ経験してきたが、上っ面しか行政の事業と数字を見れずのせいか、実際の審議では質疑が伴っていない。議員後半に向けて、議会の行政への監視機能のひとつの歯車になる目標を掲げ、課題となっている議員力のスキルアップを目指して受講する 2. 内容 予算質疑特別講座① ・予算質疑で聞くことはこれだ ・質疑のための着眼点 ・施策評価、総合戦略から質疑を作ろう ・事務事業評価を活用しよう 予算質疑特別講座② ・予算質疑のために確認しておくべき資料 ・特別会計の質疑のポイント 特別会計、企業会計は独立採算制であるため、企業経営と同じ考え方 ・予算質疑の事例を紹介 ・予算質疑の後にやるべきこと 4. 感想 予算質疑特別講座① ・予算質疑で聞くことはこれだ 予算審議とは、何のためか、基本的な流れを解説→一度の質疑に詰め込みすぎず、流れを意識して段階的に質疑を重ねて深くする ・質疑のための着眼点

質疑を作るサイクルを意識する。基本のネタ探し、職員に確認、答弁調整議会発言、情報発信→こちらからの質疑と職員とかみ合わないことが多いので注意したい

- ・施策評価、総合戦略から質疑を作ろう

切り口のひとつに質疑を作り出せる→講師の視点での捉え方を参考にしてみる

- ・事務事業評価を活用しよう

町によって言い方が異なるが、事業ごとに投入したコストや人員に、目標の達成に向けての実績度を把握することができる→評価している自治体としていない自治体があるので、栗山町の中身をチェックしてみる

予算質疑特別講座②

- ・予算質疑のために確認しておくべき資料

行政評価、決算審査意見書、財政状況資料集、人事行政の運営の状況の公表→講師の視点での捉え方を参考にしてみる

- ・特別会計の質疑のポイント

特別会計、企業会計は独立採算制であるため、企業経営と同じ考え方

→企業経営の知識を深めることで、特別会計の理解を深めれる

- ・予算質疑の事例を紹介

チェックポイントと質疑のポイントを整理する→講師の視点での捉え方を参考にしてみる

- ・予算質疑の後にやるべきこと

自身の質疑後をフォローをする、次年度決算でどうなったかを後追いをする→例えば、自身のブログ等を活用して質疑を整理する、発信する

本セミナーの中身は、一市議会議員の取組の事例を紹介されたものだが、予算質疑に関して、確認すべき資料が多方面に種類があることに気づかされましたし、時間を費やしていく量が圧倒的に必要となることに驚きました。定例会の日程から逆算して、計画的に取り組む意識が必要と感じました。今回得たものをアウトプットしていき、今後の議会活動に結びつけて参りたい